



Japan Society for Tobacco Control

日本禁煙学会

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町30-5-201

Tel 090-4435-9673 Fax 03-5360-6736

<http://www.nosmoke55.jp/> E-mail : mail:desk@nosmoke55.jp/

週刊朝日 2012/9/28 号の記事の疑問点

1. この自殺された平野隆さん（30代、仮名）について、記事を読む限り、禁煙薬を処方した医師は登場していない（両親も記者も話を聞いていない）し、警察も「自殺と判断している」とのみ書かれているに過ぎない。

2. であるのに、他者が知り得ないはずの、平野さんの禁煙薬処方や禁煙手帳、飲み会や、飲酒や、携帯メールや、銀行からの現金5万円の引き出しと財布の5万円現金や（銀行から5万円下ろして、それがそのまま財布に残っていた、なんて断定的に言えるはずがない。既に何万円かを使って、残りがたまたま5万円あっただけのことかも知れないし… それをもって「状況からは、自殺を念頭に入れていたとは考えにくい。」なんて論拠には到底ならないし、そもそもこんな私的なことまで他者が知り得るはずがない）、また親との電話のやり取りなど、死亡前のご本人の個人状況が余りに事細か過ぎて、反って何か不自然さ・作為が感じられる。20ページ2段目で「平野さんにも、ひょっとしたらその副作用（自殺念慮など）が起きていたのかもしれない。」と、強引とも言える状況推測（憶測）をしているに過ぎない。

3. 同じく20ページの1段目で「服用と自殺との間に因果関係があったかどうか不明だが、」と書きつつ、続く記事文では、薬害訴訟を専門に扱うT弁護士が「服用から自殺までの時間が近接していることを考えると、関連性を否定することはできないでしょう。」と何ら医学的根拠があるとは言えない発言をし、また同ページの5段目で「チャンピックスの安全性について問題提起を続けてきた薬害オンブズパーソン会議の事務局長…M弁護士は怒りを込めて話す。『添付文書』には、いちおう『自殺』という言葉が書かれていますが、『禁煙手帳』やパンフレットでは自殺についてまったく触れていません。重大な副作用の疑いを、必死に伝えようとする印象がまるでない」。

これら2人の弁護士の発言を受けて、上記2項の推測（憶測）がなされたようにも思われるが、1項のように処方医師も警察も何の発言もしていないことからすれば、またご本人が飲酒していたなどから、平野さんの自殺と禁煙薬処方に直接的な因果関係があると推

測（憶測）し断定するかのごとき記事には、飛躍がないとは言えないのではないだろうか？

4. 何よりもおかしいのは、PMDA・添付文書などを攻撃しながら、その元になる副作用報告をこの例では、2か月以上経っても行っていないことだ。どこにもその様な報告がなされていない。また、処方医の名前を知っていると記者は言うが、なぜ一度もその医師に連絡をとらないのだろうか。もっとも考えられることは、その平野さんがそもそも存在しなかったのではないかという疑問だ。

5. もちろんFDAでも自殺行動や自殺念慮の事例が報告され、チャンピックスの添付文書にもその旨が記載されていることからすれば、より一層の注意喚起や周知が望まれるとしても、今回の平野さんの事例を具体的な医学的証拠に基づかず、他者が知り得ないはずの個人状況を事細かに予断列挙し、それらを含め単なる状況推測（憶測）で記事としたことは、週刊朝日として告発のつもりだったのかも知れないとしても、禁煙治療に取り組む全国の医療関係者、及び多くの禁煙希望者の方々に、無用の多大な不安を与えることになったのではないだろうか？ 影響力の大きい言論機関として、その正しいとは言えない取材方法と報道姿勢・手法に是正を強く求めるものである。

2012/10/03

NPO 法人 日本禁煙学会